

様式第3号

会 議 録

会議名 (付 属 機 関 等 名)		令和元年度 第2回 川西市産業ビジョン推進委員会・ビジョン策定部会	
事務局 (担 当 課)		市民環境部 産業振興課	
開催日時		令和元年8月14日(木)午後1時～3時	
開催場所		川西市役所 5階 503会議室	
出席者	委員	佐々木部会長、荒井部会員、時任部会員、山本部会員、 佐藤部会員、木原部会員、長谷川部会員	
	事務局	市民環境部阪上副部長、 産業振興課千葉課長、大島課長補佐、中野主事	
傍聴の可否予定		<input checked="" type="checkbox"/> 可・不可・一部不可	傍聴者数 0人
傍聴不可・一部不可の 場合は、その理由			
会議次第		1 開会 2 議題 (1) 関係団体ヒアリングの実施結果 (2) データから見た各分野の状況 (3) 各分野の課題と対応 (4) 本市産業の課題と次期ビジョンについて 3 閉会	
会議結果		別紙 審議経過のとおり	

審 議 経 過

	<p>1 開会</p> <p>2 議題</p> <p>(1) 関係団体ヒアリングの実施結果</p>
事務局	<p><資料1 - 1 関係団体ヒアリングから抽出された課題 MAP 資料1 - 2 関係団体ヒアリングシート に基づいて説明></p>
委員	<p><質疑応答・意見交換></p> <p>「インターチェンジができたが、メリットが活かせていない」という課題が商業課題として色分けされているが、これは商業分野でのヒアリングで出てきたから商業の課題になっているのでしょうか。「インターチェンジができたが、メリットが活かせていない」という項目について商業の課題であるという説明をお願いします。</p>
事務局	<p>ヒアリングを行う中で商業分野の関係者から意見が出たため、商業分野の課題として記載をしています。インターができることによって人の出入りが増え、付近の商業施設が潤うことを期待されていたのだと思いますが、それが波及されていないというのが現状のようです。インター付近では、開発を望む場合、開発が進められるように「土地利用計画」という枠組みを市では有していますが、商業施設や店舗、工場等ができるといった動きがまだ見られないため、課題として意見が上がったものと考えられます。</p>
部会長	<p>観光などについては、インターができたメリットは見られますか。</p>
事務局	<p>インターの周辺には、多田神社への案内看板等を立てていますが、インターができたおかげで、どのくらいの観光人数が増えたかというところまでは把握できていません。</p>
部会長	<p>では、今回の「インターチェンジができたが、メリットが活かせていない」という意見はあくまで商業分野に限定された意見としてとらえます。</p>
部会長	<p>各産業にヒアリングをされていますが、各産業にまたがって全体に必要とされている共通部分の課題に関する意見と、各分野での意見が異なっており、ビジョン作成において調整が必要となると感じた点がありますか。</p>
事務局	<p>事業の継承や雇用といった人材の課題については各分野に共通した課題であると考えています。調整が必要ではないのかという点では、例えば、工業関係者は企業の誘致を望んでいます。それは、大きな企業が誘致できればそれに伴う工事などの仕事も増えることを見据えてのことですが、川西市は住宅都市として歩んできた背景があるため、大きな工場の誘致はそれに相反する考え方であり、市としてこういった方向性を持つべきか検討するところであると考えます。</p> <p>また、それぞれの分野において、関係者の方々は課題を述べられているので、個々の課題に対してどのようにすれば市が支えていけるのか検討するべきであると考えます。</p>

部会長	資料1 - 1において、左側の囲いの部分が課題としてしっかり濃縮されていることが改めて確認できました。ヒアリングシートを読むと、建設部会と工業部会から企業誘致という意見が挙がっていました。この企業誘致という考え方は、新ビジョン全体の方向性とどこまで整合するものなのか、また相反するものなのかという点は非常に重要になると思います。
委員	総合戦略の策定にあたって開催されている市民会議において、ニュータウンを造成しようとしたが途中で頓挫したエリアがあり、その土地を産業誘致エリアとして活用できないかという意見がありました。その意見は工業関係やその他のヒアリングでは出てきていないのでしょうか。
事務局	ヒアリングには出てきておりません。ご質問があった土地につきまして、住宅開発を行い、途中で頓挫している状況です。しかし、開発の申請自体はそのまま承継されており、開発者が手を下ろさない限り、基本的に住宅を開発する用途の土地として事業が生きている状態です。工場等の誘致のためには申請者が用途の変更を行わなければならないため、現段階では難しいと考えられます。
委員	市民サイドは行政サイドから開発者にアプローチを行うことを望んでいます。工場でなくとも教育機関を誘致するなど、何らかの形で開発が進めば、建設業界に事業が生まれ恩恵も得られると考えます。そのあたりは行政サイドからのアプローチは難しいでしょうか。
事務局	学校を誘致するということになると、一般的には土地を市が買い取って学校法人に提供することになり、難しいと思います。また、工業用としての利用だとしても、対象の土地が斜面地なため、工場の敷地として適さない可能性があります。
委員	この住宅地へのアクセス道路はありますか。
事務局	アクセス道路はできており、造成され、上下水道管も通っています。ただ、平成1桁代に造成されたもので、インフラは手を加えなくてはいけない状態になっています。
委員	開発が頓挫した理由は何ですか。
事務局	開発者の破産です。土地所有者が変わり、事業は承継したが、住宅地の開発を行うデベロッパーが現れなかったという経緯です。
委員	今回のヒアリングでは、表面的・物理的な課題が現れていると思います。しかし、その課題の背景となる理由があると思います。その理由が分かればもっと充実するかと思います。
部会長	背景の中に川西市ならではの特殊要因が紛れてくるのが考えられますので、事務局には判明できる点があれば、検討していただきたいと思います。
委員	阪急電鉄や能勢電鉄のヒアリングシートに「市のウリは何なのか」「ブランディングはどうするのか」という指摘があります。資料1 - 1課題マップでは小さな課題を項目建てで検討されているが、大きな課題である「市のブランディング」は小さな課題を掘り下げの中で検討していくつもりでしょうか。
事務局	川西市では現在、「黒川北部地区にある里山」、「多田神社を中心とした歴史的な観光」などを推していこうとしています。しかし、事務局としてはその様な見える部分だけで

	<p>はなく、コミュニティの強さについても推していきたいと考えています。川西市はニュータウンを中心にコミュニティや、近隣の住民のつながりが強く、他市よりもしっかりしていると考えています。このような点を事務局としては地域のブランディングに活用していきたいと考えています。</p>
委員	<p>川西市の現在のキーワードはベッドタウンとなっているが、産業という面で考えた際、ベッドタウンに代わるキーワードを考える必要があります。先程、川西市の強みはコミュニティであるという話が挙げられていました。コミュニティが求める産業が注目されるべきであると思います。</p>
	<p>また、市がトップダウン的に一番力を入れていきたい産業があるのであれば、そこから力を入れていけば他の産業にも波及していくのではないかと考えています。しかし、現状では「どの産業に一番力を入れていくべきか」という点が見えにくい状況にあると思います。ヒアリングに同行させていただいた際に感じたことですが、各産業にはそれぞれ細かい課題はありますが、全体として共通する課題は他市町村でも課題に挙げられるようなものでしかなかったことは残念に思いました。川西市でベッドタウンに代わるキーワードを産業から挙げられれば良いと思います。</p>
事務局	<p>現在、市では「起業」と「観光」を伸ばす方針を出しています。コミュニティが求めている産業としては、ニュータウンの中の店舗が閉店している事もあり、空き店舗の活用ができないかという思いはあります。</p>
委員	<p>市民会議でも、まちづくりを進める中でベッドタウンに代わるキーワードが必要だとしています。産業としてのキーワードも重要ではありますが、まずは、どのようなキーワードでまちづくりを目指すのか、それを達成するために産業にはどのようなキーワードが必要になるのかという点について、市民会議で議論を進めています。</p>
	<p>川西市の住民には多様性があります。多様性があるということは川西市民としてのアイデンティティを一致させるための1つの言葉で、具体的なキーワードが必要になると考えます。話に上がったように、人間関係やつながりがキーワードのポイントになると思います。</p>
委員	<p>キセラ川西地域の公園付近に力を入れているなど、川西市の強みは資料1-1には記載されないのでしょうか。</p> <p>また、芸人の西野さんが川西市で様々な活動しているが、そこに観光産業として寄り添うような動きはされないのでしょうか。</p>
事務局	<p>ヒアリングの中でも同様な意見は挙がっていましたが、市が関わると、皆さんが自由な発想で活動されているところにいい影響を与えないのではないかとこの面も考えられます。ですので、あくまで何かのご希望が市に寄せられたときにはお手伝いをするような立場と考えています。</p>
委員	<p>行政からはそのようなイベントを行う際に、市内の人に向けて広報を出すといった連携もできるのではないかと思いました。</p>
部会長	<p>第1議題での委員の皆様からの意見を統一すると、ビジョンの理念をどう設定するのかというところに集約されてくると思っています。大きなビジョンを貫くような柱、理念を</p>

	<p>川西市の特徴であるコミュニティに目を向けながら産業ビジョンとしてどう設定していくのが議論のポイントになると考えます。</p> <p>(2) データから見た各分野の状況</p> <p><資料2 産業を取り巻く現状と課題 に基づいて説明 ></p> <p><質疑応答・意見交換></p>
委員	<p>共通する課題の中で人手不足の話がありましたが、その背景となるデータ、例えば川西市で働いている人の平均年齢等のバックデータがあった方が共通する課題を発見しやすくなるのではないかと考えます。</p>
部会長	<p>ただ今ご指摘いただいた件につきましては、他の課にデータがあるのではないかと考えますので、事務局で対応していただくようお願いします。</p>
委員	<p>起業の状況について、どのような事業が新しく生まれ、どのような業種が廃業しやすいのかデータはあるのでしょうか。</p>
事務局 部会長	<p>中分類レベルで、何が開業・廃業をしたかというデータは把握できます。</p> <p>起業については、統計資料と商工会に動向を聞き、調べるのがよいと思います。特に第3議題の産業の柱という点につながるかと思います。開業・廃業の流れから川西市の産業の優位性が見え、産業ビジョンへ活かすことが可能になるかと思いますので、可能であれば事務局には調べていただきたいと思います。</p>
委員	<p>資料2「産業をとりまく現状と課題」について、各分野の記述の最後に、「前計画での課題」という項目があり、対策が書かれていますが、「観光」と「企業・労働」の項目に関しては本資料では何も書かれていません。前計画から課題に対し全く手を打っていなかったということになるのでしょうか。</p>
事務局	<p>本資料で書かれている課題の項目は、前回の産業ビジョンに書かれている文言を、今回の会議資料として、一旦掲載している状態になります。「観光」と「企業・労働」分野につきましては、前計画に記載がなかったため、空欄にしており、今後記載内容を検討してまいります。</p>
委員	<p>商業のデータで、川西市で買い物をする人の割合は、商業の活性化において非常に重要だと思います。具体的に市内で買い物する割合を高める対策について何か実践されてきましたか。</p>
事務局	<p>空き店舗活用に対する補助金の交付、地元商店街のイベントに対する補助の交付を行ってきました。川西能勢口駅前の再開発や、アステ川西のてこ入れによる店舗の入れ替わりもあり、買い物客の増加につながっていると考えます。</p>
委員	<p>市内で買い物する割合が上昇しているが、その様な努力が上昇につながったと記載してもよいのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>割合の上昇に関してはその様な努力が直接上昇につながったのか、把握できておりません。</p>

<p>委員 事務局</p>	<p>市北部地域のスーパーが1つなくなったが、その影響は出ているのでしょうか。 スーパーの閉店はこの7月のことであり、影響は来年以降の統計に表れると思います。一方で、キセラ川西地域に阪急オアシスが出店しましたが、その影響も来年度以降の統計に現れると予想されます。また、市外からの買い物客数の変化についても同時期に現れるのではないかと考えております。</p>
<p>委員</p>	<p>川西市内の商業の活性化という点について、市内に最近商業施設が多くつくられていますが、川西市がハード面から市内での買い物を推進する計画をつくり、市外からの買い物を誘致するようにしているのでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>都市計画的に商業のエリアは決まっており、キセラの区画整理は計画に沿って行っている状態です。商業施設が増えているのは、商業者が魅力を感じたため、商業施設を展開しているという事です。川西市として大きな商業施設の誘致をめざした支援策は行っておりません。</p>
<p>委員</p>	<p>市としては、「起業」と「観光」をキーワードとして選ばれているという話がありましたが、「起業」を選ばれた理由は何かあるのでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>市としては、大企業を誘致するよりも、市民が自ら動き、川西に今あるものを外に発信することに注目しています。そのため、市民が自ら起業し、そこに市民が興味を持つことを重視しているため、「起業」がキーワードとして挙がっていると認識しています。</p>
<p>委員</p>	<p>川西市には自らコミュニティを立ち上げている人がいるように思います。また、前回の委員会でも話題にありましたが、起業＝女性支援となっているので、若い方や男性、シニアの方などに対しても支援があってもいいのではないかと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>現状のデータをまとめていった際に、このデータが足りないと感じたことはありますか。観光のページなどでデータや課題をまとめていただいておりますが、ここから観光に重点を置いていくとなった際に、現状がどうなっており、どこまで伸ばしていけばよいかといったデータを出すのは難しいと思います。</p> <p>最近ではエビデンスに基づいた政策が求められており、どのようなエビデンスが必要なのかまとめた方がよいのではないかと思います。そのためにも、どのようなデータが不足しているかを把握することが必要であると考えます。</p>
<p>部会長</p>	<p>エビデンスは政策をつくっていく上でも重視されるポイントになるので、事務局は可能な限り調査していただければと思います。他部署や他課で様々なデータは用意されていると思います。横の連携をとっていただき、可能な範囲で集めていただければと思います。</p> <p>議題2では大きく2点いただきました。1点目はビジョンの前段となる資料2「産業をとりまく現状と課題」について、どういう体裁でまとめていくのかという点です。本資料はデータをまとめて、ひな型的な形でまとめていただいたと思います。次回提示していただく素案の時にはどのような体裁で課題を抽出し、「前ビジョンの課題も書くのか」、「データから見た新たな課題も出していくのか」、「それらを時系列でまとめていくのか」等の体裁の統一を行っていただきたく思います。</p> <p>もう一点は、データの変化に対する川西市独自の背景や要因をどのように把握するの</p>

	<p>かということが重要になると思います。マクロのデータでは見えない、川西市として見えてくるような課題の抽出やビジョンが出てくると思います。「全国的な傾向として見られる点」と「川西市独自として見られる点」を加味するような形で打ち出していただくようよろしくお願いいたします。</p> <p>(3) データから見た各分野の状況</p> <p><資料3 各産業分野における課題と対応の方向性 に基づいて説明 ></p> <p><質疑応答・意見交換></p>
委員	<p>2点あります。1点目は、現在川西市では創業支援計画をつくられています、その計画との関連はどのようになっているのでしょうか。また、2点目は国土強靱化関係のBCPに関する点がキーワードとして入っていてもよいのかと思いますが、どのようにお考えでしょうか。</p>
事務局	<p>創業支援計画については、商工会が創業支援計画に基づいて事業を展開されています。市ではフォローアップ時に参加し、どのような事業が進められているか確認する程度での連携をしているという状態です。</p>
委員	<p>創業支援計画は今年度で終わると思いますが、次はどうなるのでしょうか。例えば本計画のビジョンを柱に地方創生関係の交付金をとるのでしょうか。</p>
事務局	<p>創業支援計画は今年度で終了する予定となっておりますが、延長を検討しております。その中で具体的な連携を行っていただければと考えておりますが、現段階で具体的な検討までできておりません。</p>
部会長	<p>2点目につきまして、前回の委員会でもSDGsがキーワードとして挙がっておりました。現在の風潮やトレンドを踏まえるという点と、今後、補助金を獲得するなど様々なアプローチをしていく際の仕込みを入れることも重要になってくると思います。そのため、事務局の方でも次回の素案作りにつなげて考えていくよう、よろしくお願いいたします。</p>
委員	<p>産業振興につきまして、川西市が一人勝ちをすることは難しいと思います。川西市を含むエリアが共存して発展していくという方向性が必要となると思います。資料3の中にも隣接市との一体という言葉がありますが、産業の中でも広域的な対応を行える可能性が高いもの、例えば「観光」や「労働」のしごと・サポートセンターやキャリアカウンセリング等には広域対応のマークを付け、区別してはどうかと思います。</p>
部会長	<p>ご意見ありがとうございます。分かり易く、施策としての有効性も高くなるかと思えます。また、他市に対する連携のアピールにもなりますので、前向きな検討をお願いいたします。</p>
委員	<p>事業継承に関して、県庁の経営商業課で今年度より事業継承に関する助成メニューを設けています。川西市内の事業所からのご相談もあり、補助金の申請もあります。相談の中でも特にマッチングが必要な第三者継承に関しては、ひょうご活性化センターに引き継いだ事例もあります。ヒアリングは終わってはいますが、もし必要があれば、川西</p>

委員	<p>市の商工会を通じて何か聞けることがあるかと思います。</p> <p>また、企業のコワーキングスペースに関しまして、管内では宝塚市に3団体、ネットワークしながら運営している事例があります。宝塚市も今年度よりコワーキングスペースと連携したセミナーを開催しようとする動きがあります。このような事例についても何かお聞きできるといいかと思います。</p> <p>起業が一つのキーワードとなっており、その根底にはいかに市民の主体性を引き出すかということを重視されているため、助成金を出すのも一つのやり方かと思います。しかし、この助成金があることに気づき、助成金の申請を行う一歩手前の人達をいかに増やすかということが重要になってくると思います。それには2つの方法があると思います。1つは、助成金があるということに関する広報で、もう1つは起業という選択肢があることを気づかせるための活動が必要であると思います。女性の起業塾は後者に当てはまるのだと思います。</p>
部会長	<p>私はコワーキングスペースの運営を行っていますが、コワーキングスペースは場をつくるだけでは全く意味がありません。そこを使う人をどのようにして連れてくるかが重要となります。それは、先ほど申し上げた助成金の申請を行う前段階の人を増やす点と共通していると思います。場をつくる前に、その場にどの様に人を集めるかという仕掛けを考えることが重要になると思います。</p> <p>おそらくビジョンをつくるうえで資料3の1-1「起業・創業の促進」というのは大きな意味を持つと思います。今頂いた意見は、その点をどれだけ丁寧に書くかということにつながってくると思います。産業ビジョンの作成となりますので、具体的な施策までは書ききれないかと思いますが、枠組みのイメージ程度のものをビジョンの中で示すことは重要になってくるかと思います。また、ビジョン策定後、アクションプランを進めるなかで必要な項目となりますので、その点を見据えて検討していただければと思います。</p>
委員	<p>新ビジョン策定にあたって、ビジョンには一貫性が必要になります。川西市の産業ビジョンとして、様々な産業がある中で、どの産業に力を入れていくのかという点がどのように浮かび上がってくるのかは気になっています。現在は広く調査されて、様々な産業に課題があることは分かったが、その積み上げ方式でやっていくことで、川西市の強みを消してしまうのではないかという点が気になっています。</p>
部会長	<p>ご意見ありがとうございます。部会の中でいただいているヒントとしては、川西市は「住宅都市」という大きな性格を持っているので、「まちづくり」をベースに置きながら、その中で産業ビジョンがどのようにかわっていくのか。その際の産業ビジョンの作り方は、多様な価値観を持つコミュニティを形成する人たちがどのように産業にかかわってくるのかが1つのビジョンの方向性につながってくるのかと思います。</p>
委員	<p>「起業・創業の促進」、「商業の発展」というのは、「よくある言葉」になり、その言葉だけでは訴えかけるものが少ないように思います。部会長がおっしゃったように「まちづくり」という部分があり、そこから発展してゆく考えのもとで行うと、「そこに住む人の強みを生かすための起業」や、「それに伴う商店の活性化」といった「市の思い」がス</p>

	<p>トリーとして見えてくるのが重要になると感じました。</p> <p>ヒアリングシートの5ページに「キセラ川西のプロモーションをもっと効果的にするべき」といった文言はありますが、魅せ方、プロモーションの方法にも課題があると思います。川西市の広報は賞もっており、読みやすいと評判ではあるが、広報では商業的なプロモーションは行っていないと思います。市民にとって分かり易いツールを使って見せ方を工夫してもよいのかと思います。</p>
部会長	<p>「市の思い」というご意見をいただきましたが、産業ビジョンは川西市がどう考えているかというポイントが一番重要になると思います。その「市の思い」というのを次回ご提示いただければと思います。情報提供や魅せ方というご意見もいただきました。こちらも非常に今の時代重要な観点だと思います。</p>
事務局	<p>前回、前ビジョンの総括をしていただいた際に、今回の資料3の商業分野にある「新規出店開業支援補助金」や「新商品開発補助金」等の実態がどのように機能しているのかお聞きしたいと思います。数字等の把握されている情報があればご提示をお願いいたします。補助金によっては獲得のハードルが高いものもありますので、このあたりの実態のご説明をよろしくお願いいたします。</p> <p>「新規出店開業支援補助金」は平成27年度に1件事業が通っております。それ以降も手が挙がったことはあるが、事業化に至らなかったケースが2件ありました。先ほど部会長から話があったように、県のひょうご産業活性化センターの補助金の審査を通ったものに対し市が随伴で補助をする補助金になりますので、その時点でハードルがあります。また、新規事業を始める際に、事業者がすでに空き店舗をおさえる契約行為を行っていたため、補助金の対象にならなかった事例も何件ありました。</p> <p>「新商品開発補助金」は27年度に4件の申請があり、4件がそのまま補助の対象となりました。28年は3件の申請で2件の採択、それ以降は手が挙がるものの、認定には至っていないという状況が続いています。こちらの補助金についても、少しハードルが高く、使いにくい補助金になっているのではないかと考えます。市の方でも、もう少し使いやすいものにしていく検討はしております。補助金開始年度に採択された件数が多い理由としましては、以前より市の特産として考えていた商品が同時に申請されたためであると考えています。</p>
部会長	<p>助成金や助成金に対する認知は産業の活性化には重要なものであると考えます。新ビジョンを策定する際にもそれらの助成金は問われるものになってくると思います。資料3の「対応する既存事業」には様々な事業が書かれていますが、使い勝手が悪かったり、実質的な利用には結びついていない点もありますので、新ビジョン策定の際に、どう作り替えていくか、どの様により良い利用につなげていくのかというあたりが連動して問われてくると思いますので、事務局は検討をよろしく願います。</p>
部会長	<p>2点お尋ねしたいことがあります。1点は第1議案の際から出てきている「企業誘致」に関して。資料3でも「企業誘致」はヒアリング、市民会議の両方で意見が出てきています。内発的な経済発展を志向するようなビジョンであれば、当然、市内産業の発展のみでいいかと思いますが、市民会議やヒアリングで意見が出てきているようですのでそ</p>

	<p>のあたりをビジョンではどのように扱うのか事務局に対して問いかけたいと思います。</p> <p>もう1点は、ビジョンでは総論的な形で書いていくわけですが、各分野の細かい違いはあります。各論的な形ではどこまで書くことを想定しているのでしょうか。例えば資料3の3-1で「商工業の経営基盤強化」とありますが、当然、工業によって支援の仕方、経営基盤の強化の仕方は異なってきます。そのあたりをビジョンではどこまで想定されるのでしょうか。サービス業に関しても同じです。資料2の6ページを見ていただくと、全体として市内総生産が上昇してきていることが分かります。また、7ページを見ていただくと、不動産業、サービス業がこの市内総生産の大部分を占めている状態になっています。このサービス業の中でも様々な種類のサービス業が細かく分かれているは思います。本日委員の皆さんから意見をいただきましたように、マクロなデータでは足りないデータや、現実の実態がこのデータの背後にあると思います。そのあたりの各論にどこまで踏み込んでいくのかという点につきまして、ご検討いただければと思います。</p>
委員	<p>広報に関しまして、部会や特定の部署が担当しているということはあるのでしょうか。産業の活性化を考える際に広報での支援による下支えが必須になると考えます。補助金に関する広報や、事業を始める際に発信をする窓口を用意するなどの支援があってもよいかと思います。</p>
事務局	<p>実際に市の媒体を利用すると、税金を投入している以上特定の事業者を応援することは難しい性質があります。しかし、市内の情報発信を行う民間のウェブサイトがあり、そこと連携協定を結びましたので、その場を利用して情報の発信を行っていかれるかと思います。</p>
委員	<p>キセラ川西地域にスーパー銭湯が最近できましたが、この施設は観光目的として、川西市民が日常的に使うような施設でもあると思います。日常的に使うとなると、行政の広報誌による支援を行えばいいのではないかと思います。</p>
事務局	<p>微妙なところにはなるのですが、税金を投入している以上、直接的な広報は難しくなるのかと思います。例えば、キセラ川西の区画整理の結果として、このような商業施設ができた、というような区画整理の成果としての紹介は可能となるかと思います。しかし、商業的な広報は難しいため、民間のウェブサイトやコミュニティ新聞と連携する中での広報なら可能になるかと思います。</p>
部会長	<p>よろしいでしょうか。これで議題の方は全て終了になります。非常にたくさんご意見をいただくことができました。次回1か月後には原案に近いものが出てまいります。そこから大きな修正は難しくなってくるかと思います。事務局は、時間のない中にはなりますが、今日頂いた意見をできるだけ反映できれば幸いです。データの方につきましてできるだけ入手していただけるとありがたいと思います。次回に向けてどうぞよろしくお願いいたします。では、最後に事務局の方からお願いいたします。</p> <p>3 閉会</p>

事務局	<p>本日はお忙しい中ありがとうございます。</p> <p>来月は20日が3回目のビジョン策定委員会となります。本日頂いた意見は、第三者として聞いてみると、興味のわくご意見をたくさんいただきましたが、これをどう取りまとめていくのか、形にしていくのかは本当に苦勞するのかなというのが正直な気持ちでございます。本日もお話にありましたが、川西市としてのイメージがこの計画を通してどのように湧いてくるということが大切であると思いました。この辺りを意識しながら丁寧に作りこんでいけるように努力してまいりたいと思います。</p> <p>途中、分からないこと等ありましたら、また各委員様の方にご意見を頂戴することがあるかと思いますが、皆様どうぞご協力のほどお願いいたします。</p> <p>本日はどうもありがとうございました。</p>
-----	--